

学校評価に係る意識調査（保護者、児童、教職員）についての考察

1 「教育活動評価アンケート」集計表（対象；保護者）

（1）評価

- ・数値は「そう思う」、「おおむねそう思う」を合わせた肯定的な回答数の割合（%）

※斜数字は85%未満の割合だったもの

※上段；30年度、下段；29年度の回答，（ ）内の設問は、29年度のもの

No	設 問	全校
1	お子さんは、楽しく元気に学校に通っている。	98.9 98.0
2	お子さんは、基礎・基本を身につけている。	93.6 87.7
3	お子さんは、授業内容を理解している。 (お子さんは、授業に集中して取り組んでいる)	93.6 85.6
4	お子さんは、家庭学習に自分から取り組んでいる。	65.4 60.3
5	お子さんは、本をよく読んでいる。 (お子さんは、意欲的に読書をしている)	54.1 46.9
6	お子さんは、元気に自分からあいさつをしている。	74.9 71.9
7	お子さんは、思いやりがあり、やさしい行動ができています。	94.9 86.1
8	お子さんは、友達と仲良く生活できている。	97.3 94.0
9	お子さんは、運動に進んで取り組んでいる。	81.0 77.3
10	お子さんは、望ましい生活習慣を身につけている。	87.1 79.1
11	教職員は、熱意を持って教育にあたっている。	97.6 97.6
12	教職員は、ひとりひとりの子どもを大切にされた指導や支援を行っている。	95.7 93.1
13	教職員は、わかりやすい授業をしている。	96.1 93.3
14	教職員は、授業内容や指導方法の工夫をしている。	96.7 94.7
15	学校は、教育方針や子どもの様子を学校・学年だよりやHP、参観日等で公開している。	95.0 95.6
16	学校は、家庭への連絡や相談をきちんと行っている。	94.4 91.0
17	学校は、何かあった時、すぐに対応している。	97.0 94.4
18	学校は、子どものことについて気軽に相談できる体制をとっている。	93.7 90.4

19	学校は、登下校や学校生活の子どもの安全確保をしている。	94.6 92.7
20	学校は、不登校やいじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。	97.9 91.0
21	学校の年間行事計画や、授業参観の時期や回数は適切である。	94.7 95.1
22	学校は、小規模校の特性を生かした教育活動を展開している。	90.9 95.3
23	学校は、家庭、地域との連携を大切にしている。	96.0 96.3

(2) 考察

ほとんどの項目で、昨年度よりも数値が上昇している。今年度の教育活動が保護者にも理解されているものと考え。それぞれの項目については以下の通りである。

- (No.1) 昨年度よりも0.9%上昇した。子どもたちが希望を持って登校できるように、これからも教育活動を工夫していきたい。
- (No.2) 5.9%の上昇、(No.3) 8.0%の上昇、この2つの項目が、昨年に比べ大きく上昇しているのは、これまで取り組んできた様々な授業研修の成果ととらえ、今後も研究と修養に励み、授業力のアップに取り組んでいきたい。
- (No.4) 数値としては上昇しているが、児童アンケートでは、71.1%、職員アンケートでも76.9%と低い数値となっており、保護者、児童、教職員共通の本校の大きな課題の一つとなっている。家庭学習のあり方や取り組ませ方について再度検討し、家庭学習の充実を図っていきたい。
- (No.5) 7.2%の上昇、ブックリンピックを実施し、読書の充実に力を入れている成果と考える。数値自体は高くないので、さらに読書活動に力を入れていきたい。
- (No.6) 「あかるく、いつも、さきに、つたわる大ききさで」を合い言葉に取り組んでおり、児童会もあいさつ運動を行った。校内では以前よりも元気なあいさつの声が聞こえてくるが、保護者の評価を考えると、どんな時でも、だれにでも気持ちのよいあいさつができるように、これからも指導を継続していきたい。
- (No.7) 昨年よりも8.8%数値が伸びている。道徳が教科化となり、道徳推進教師を中心とした研修の成果ととらえ、これからも道徳の授業の充実を図り、豊かな心を育てていきたい。
- (No.8) 3.3%の上昇、学級活動の成果と考える。今後も、学級レクや仲間作り活動を充実させ、良好な人間関係作りを行っていきたい。
- (No.9) 昨年よりも数値は上昇しているもののまだまだ課題の残る項目の一つである。知・徳・体のバランスのとれた子どもを育てるためにも、レク・スポーツなどへの取り組ませ方をさらに工夫したい。
- (No.10) 8.0%の上昇、学級担任による学級指導はもちろんのこと、いろいろな場面で全職員が同じ歩調で指導をしている成果ととらえたい。また、家庭や地域の協力があつてこそその成果と考えられる。深く感謝したい。
- (No.11) 数値に変化はないが、97.6%の保護者の方々に肯定的に評価をいただいていることを励みとし、今後も教育活動にあたっていきたい。
- (No.12) 2.6%の上昇、No11と同様に、高い評価に満足することなく、今後も一人ひとりの児童を大切にして教育活動を行っていきたい。

(No.13, 14) No 2、No 3 の設問の裏付けになる項目を、96.1%と高く評価いただいたことを励みとして、日ごろの教材研究や指導法の研究を怠らず、今後も分かりやすい授業作りを心がけていきたい。

(No.15) 昨年度よりも学校ホームページ「八木っ子トピックス」の更新回数を増やしている。さらに充実したホームページ作りを行い、学校の様子を発信していきたい。

(No.16) 3.4%の上昇、本校のめざす教師像の一つである「誠意とスピード」の「誠意」の部分の評価ととらえ、今後もさらに丁寧な対応を心がけていきたい。

(No.17) 2.6%の上昇、No16と同様に、「スピード」の部分の評価ととらえ、いろいろな出来事に対して、迅速に対応していきたいと考える。

(No.18) 3.3%の上昇ではあるが、今以上に、相談しやすい雰囲気作りを心がけていきたい。

(No.19) 96.4%という高い評価は、地域の見守りボランティアの方々の協力が評価されたものと考え、地域の見守りボランティアの方々に深く感謝したい。

(No.20) 6.9%の上昇、学級担任が少しでも不安に思うことは、すぐに職員の間で共有され、早めの対応で、不登校やいじめのない学校をめざしているが、今後もさらにアンテナを高くしながら、そのときとれる最良の方法で、生徒指導にあたっていきたい。

(No.21) 引き続き、教育効果の高い行事を設定し、子供たちが成長できるように取り組んでいきたい。

(No.22) 4.4%下がってしまった。小規模校の特性を生かした活動を行ってきたのだが、十分に伝わっていなかったのかもしれない。評価が下がったことを真摯に受け止め、来年度は、児童数的にはまだ小規模校の特性を生かせると思われるので、様々な活動を取り入れながら、学校の様子を発信していきたい。

(No.23) 引き続き、家庭、地域と連携をとりながら、教育活動を進めていきたい。

2 「学校生活アンケート」集計表 (対象；児童)

(1) 評価

・数値は「とても」、「はい」を合わせた肯定的な回答数の割合 (%)

※斜数字は85%未満の割合だったもの

※上段；30年度、下段；29年度の回答、()内の設問は、29年度のもの

1	学校は、楽しい。	97.6 94.0
2	学校の勉強がわかる。	90.4 85.5
3	授業中、先生や友だちの話をしっかり聞いている。	94.0 93.7
4	自分の考えを発表している。 (自分の考えをよく発表している。)	68.4 64.3
5	自分からすすんで、家庭学習(自分できめた学習)をしている。	71.1 67.7
6	クラスには、いっしょに遊んだり相談したりできる友だちがいる。	95.4 91.3
7	学校のことを大切にしている。	99.0 97.8

8	自分から進んで運動している。 (運動することがすき。)	85.6 88.5
9	外遊びをしている。 (外遊びがすき)	85.6 87.5
10	あかるく、いつも、さきに、つたわる大きさで、あいさつをしている。 (自分から、あいさつしている。)	90.3 92.3
11	給食をすききらいなく食べている。 (給食をすききらいなく食べるようにしている)	81.6 85.0
12	掃除にいっしょうけんめいとりくんでいる。	95.6 91.8
13	本をよく読んでいる。 (読書がすき)	73.0 70.3
14	図書室をよく利用している。	61.1 51.8
15	音読がすき。	67.6 60.7
16	安全に注意して登下校している。	99.1 94.0
17	学校で火事や地震がおきた時、どうしたらよいか知っている。	95.9 95.7
18	先生は、ひとりひとりに話しかけたり、話をよく聞いてくれたりする。	96.0 91.7
19	先生は、がんばったことをほめてくれる。	94.6 89.8
20	地域の活動に進んで参加している。	68.9 63.2
21	学校のきまりを守っている。	99.0 94.5
22	運動会や学習発表会などの行事にいっしょうけんめい取り組んでいる。	97.9 97.0

(2) 考察

- (No.1) 3. 6%上昇、「学校に来るのが楽しい」という気持ちにさせている教職員の成果とみたい。「楽しい」ということの中身の充実を図っていきたい。
- (No.2) 4. 9%上昇、保護者アンケートでも高評価を得たが、子供たち自身も勉強がわかるという実感を持っているので、今後も授業研究に力を入れ、「わかる授業」「楽しい授業」を展開できるよう努力していきたい。
- (No.3, 4) 話を聞くことはしっかりとできるが、自分の意見を発表することを苦手とする傾向がはっきりと出ている。ともに昨年よりは数値が上昇しているが、全教室に掲示してある「STEP UP 伝え方」を職員がしっかりと意識して授業作りを行うことを共通理解して自分の考えを堂々と発表させていきたい。
- (No.5) 3. 4%上昇しているものの、保護者アンケートの考察でも触れたが、家庭学習の充実は本校の課題の一つである。「宿題」以外に自分から進んで行う学習にどう取り組ませるかをさらに考えたい。

- (No.6) 4. 1%上昇し、95.4%となったが、各担任が4.6%の児童をしっかりと見守ってクラスにひとりぼっちを出さない取り組みを今後も継続して進めていきたい。
- (No.7) 99%の児童が学校のものを大切にしていると回答しているが、校内を見回してみると丁寧さに欠ける使用状況も見られる。みんなのものをどれだけ丁寧に、そして大切にできるか、この気持ちをいろいろな場面で教えていきたい。
- (No.8、9) とともに昨年度より数値が下がってしまった。昨年度と設問の表現を少し変更したところにも低さが出たのかもしれないが、レクや運動の実施方法を工夫し、外運動を励行したい。
- (No.10) 設問の表現をより具体的にしたいせいか、数値が2%低下した。今年度重点とした項目だけに、残念なものとなった。「あいさつ運動」などの取り組みでは全校的に高まりを見せるが、取り組みが終わると弱まる傾向にある。保護者アンケートの分析と同様になるが、どんな時でも、だれにでも気持ちのよいあいさつができるように、これからも指導を継続していきたい。
- (No.11) 3.4%低下、「食べるようにしている」から「食べている」に設問を変更したことも影響しているかもしれないが、給食を通した「食育」をさらに充実させて、好き嫌いなく食べることの意義を教えていきたい。
- (No.12) 3.8%上昇、15分間の清掃の時間、児童はやるべき分担をしっかりとこなしているが、学校がきれいになって気持ちがよいという喜びも教え、さらに清掃活動を充実させたい。
- (No.13~15) 全校で取り組んでいるブックリンピックの成果と考えられる。特に図書室の利用が9.3%も上昇しているところは、喜ぶべき傾向である。本をよく読み、なおかつ音読も好きという児童も増えてきている。来年度、さらに充実した活動にしていきたい。また、朝学習の音読の時間も大切にしていきたい。
- (No.16) 全項目中一番高い99.1%の児童が肯定的にとらえているのは、保護者アンケートの考察と重なるが、登下校時に、地域の安全見守りボランティアのみなさんが子供たちを熱心に見守って行っているおかげと考え、深く感謝したい。
- (No.17) 95.9%の児童が肯定的にとらえているのは、学校で実施している避難訓練の成果と考えるが、周りの指示に依存するのではなく、「自分の身は自分で守る」という意識化を図るための指導や訓練も実施していきたい。また、「落ちてこない、倒れてこない」場所を探せるようにショート避難訓練の実施にも力を入れていきたい。
- (No.18) 4.3%上昇、教職員の努力の成果ととらえたい。今後もさらに子供たちに目を配りながら教育活動を進めていきたい。
- (No.19) 4.8%上昇、ほめることは子供を育てるための重要なポイントである。一人ひとりの児童の観察をしっかりと行い、その児童が今何に響くのかを見極めて、効果的なほめ言葉で子供たちをさらに伸ばしていきたい。
- (No.20) 5.7%上昇したものの、68.9%と低い数字となっている。学区内各地域で行われている行事に積極的に参加することで地域の絆が強くなっていくものと考えられるので、地域との関わり方の意義を指導したい。
- (No.21) 4.5%上昇、日頃の学級指導や、道徳科の授業の成果と考える。みんながきまりを守ることで、自分も守られていくということを、発達段階に応じて指導していきたい。
- (No.22) 0.9%上昇、各担任が、行事の意義を理解させた上で計画的に取り組ませ、発表当日に達成感を持たせている成果と考える。今後の行事の取り組みでも、子供たちに達成感を持たせられるようにきめ細かく指導していきたい。

3 「自己評価」集計表 (対象；教職員)

(1) 評価

- ・「A」…「とてもそう思う」、「B」…「そう思う」
- ・「割合」は、「A」、「B」を合わせた肯定的な回答数の割合

※斜数字は85%未満の割合だったもの

※上段；30年度、下段；29年度の回答（下段の数字のないものは今年度新設の設問）また、()内の設問は、29年度のもの

1	児童は、楽しく元気に学校に通っている。	100.0
2	児童は、基礎・基本を身につけている。 (児童には、基礎学力が定着している。)	86.7 75.0
3	児童は、授業内容を理解している。	92.9
4	児童は、家庭学習に自分から取り組んでいる。	76.9
5	児童は、本をよく読んでいる。 (児童は、意欲的に読書をしている。)	76.9 93.8
6	児童は、元気に自分からあいさつをしている。 (児童は、すすんであいさつしている)	81.3 75.0
7	児童は、思いやりがあり、やさしい行動ができています。	100.0
8	児童は、友達と仲良く生活できている。	100.0
9	児童は、運動に進んで取り組んでいる。	92.9
10	児童は、望ましい生活習慣を身につけている。	93.8 68.8
11	自分は、熱意を持って教育にあたっている。	100.0
12	自分は、わかりやすい授業をしている。	71.4
13	自分は、授業内容や指導方法の工夫をしている。 (自身は、学習指導法の工夫改善を進めている。)	86.7 75.0
14	自分は、図書室活用・読書指導を進めている。	92.3 90.9
15	自分は、小規模校の特性を生かした教育活動を図っている。	86.7 78.6
16	自分は、笑顔で子どものやる気を促し、豊かな表情で子どもとかわっている。	100.0
17	自分は、家庭への連絡や相談をきちんと行い、「誠意とスピード」で対応している。 (自身は、保護者に対して、「迅速に、丁寧に、誠意を持って」対応できている。)	100.0 92.3
18	自分は、登下校や学校生活の子どもの安全に配慮している。 (自身は、児童の安全確保への配慮をしている。)	100.0 93.3

19	自分は、不登校やいじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。	100.0 89.8
20	自分は、地域との連携を大切にしている。 (自身は、地域との関わりを大切にしている。)	92.9 100.0
21	自分は、特別支援を要する児童について、情報を共通し、適切な支援をしている。 (自身は、特別支援を必要とする児童について、情報を共通理解している。)	100.0 100.0
22	自分の校務分掌について着実に取り組んでいる。	99.3 76.9
23	職員間は、日々の教育活動における問題や悩みを気軽に相談できるものになっている。	93.8 93.8
24	職員間は、不祥事防止について意識を高めるとともに、チェック機能が働くものになっている。	93.3 93.8
25	児童は、自ら考える子に育っている。	86.7 93.3
26	児童は、心豊かな子に育っている。	100.0 93.8
27	児童は、たくましい子に育っている。	93.8 87.5
28	八木南小学校は、“えがおとつながりを大切に作る学校”となっている。	93.8

(2) 考察

設問項目を増やし、設問内容もより実態に即したものに変更した。また、保護者アンケートの項目も多く入れ、教職員と保護者の違式の差を浮き彫りにしようと試みた。教職員が自身の指導に満足することなく、周りからの評価を謙虚に受け止め、今後の指導に当たりたい。

(No.1, 7, 8, 11, 16, 17, 18, 19, 21, 26) 10項目で100%という全職員が肯定的な評価をしているところに、今年度、教職員の努力の跡がうかがえる。様々な研修を等して培った指導力の向上が裏付けとしてあるものと考え、さらに学校体制で教師力を向上させていきたい。

(No.2) 11.7%上昇、研究の取り組みの成果と考える。来年度は、数値がさらに向上するよう、研修に力を入れていきたい。

(No.4) 76.9%とやや低い数値となっている。保護者アンケートの考察と同じになるが、子供たちが主体的に取り組める家庭学習を教師が仕組んでいかなければならない。

(No.5) 76.9%とやや低い数値となっている。ブックリンピックや国語の授業の様々な取り組みで子供たちの読書量は増えているものと思うし、その実感が薄いようであれば、さらに向上するように全職員で取り組んでいかなければならない。ただ、No14の項目が1.4%上昇しているところは、読書指導の成果と考える

(No.6) 6.3%上昇、「あかるく、いつも、さきに、つたわる大ききさで」を合い言葉に取り組んでいる成果と考える。校内では以前よりも元気なあいさつの声が聞こえてくるが、どんな時でも、だれにでも気持ちのよいあいさつができるように、これからも指導を継続していきたい。

(No.10) 25.0%上昇、日頃からの指導の成果だけではなく、家庭や地域での指導があってこそと考える。深く感謝したい。

- (No.12) 7 1. 4%とやや低い数値となっている。教職員の謙虚さの表れと考えたいが、もし、分かりやすい授業の展開に不安があるのであれば、研修部を中心に授業研究に力を入れ、自信を持って授業を展開できるような取り組みに力を入れていきたい。
- (No.13) 1 1. 7%上昇、授業作りに様々な工夫をしている数値が向上しているので、授業の工夫を共有することで、No12の解決の糸口となるかもしれない。
- (No.15) 8. 1%上昇、特別活動部を中心としたたてわり活動を中心とした異年齢集団活動の成果と考える。来年度、全校児童数に大きな変化はないので、今年度の取り組みをさらに充実させていきたい。
- (No.25) 7. 6%低下、学習にきちんと取り組んでいる子供たちだが、「自ら考える」ことについては、まだ不十分さを感じているところに八木南小学校の伸びしろを感じる。
- (No.28) 9 3. 8%の割合で、学校教育目標の“えがおとつながりを大切にする学校”が達成できていると回答している。これは、本年度の様々な教育活動の取り組みの成果であろう。今後も自分たちの教育実践を振り返りながら、子供たちのよりよい成長のために努力していきたいと思う。